

●パートナーシップ宣誓制度について

総会質疑において、市長は「同制度を利用した市職員の福利厚生等について具体的な検討を行う」と答弁しています。結婚休暇や介護関連休暇等、速やかに検討いただくよう要望しました。

●保育事業について

待機児童や未入所児童の問題は、保育士不足が大きな要因です。解消のためにも保育士の処遇改善を行うべきであり、世帯主に限り月1万円とする正規保育士の家賃助成を非正規の保育士へ拡充すべきです。

●高齢者の社会参加を促進するための高齢者乗車券について

本市の高齢化予測によれば、2030年には4人に1人が65歳以上という状況を迎えます。健康寿命の延伸のために「外出」は重要なキーワードであり、介護予防・認知症予防にもたらす効果は大です。その重要な外出促進施策である「高齢者乗車券」は多くの高齢者に活用され、社会参加の促進に寄与しています。存続はもとより、ICカードで利用できる交通機関を拡大すべきです。

●子どもの医療費助成制度について

子育て世帯の負担軽減策として、2016年10月より小学6年生まで助成対象が拡大され、子育て世代への大きな支援となっています。しかし、それまでは自己負担無しであった3歳から6歳未満の幼児には負担を強いるものになっています。

小学6年生までの子ども医療費の自己負担を廃止し、助成対象学年を中学3年生まで拡大するよう要望しました。

●子どもの学びの保障について

中1ギャップの解消は未だ図られていません。中学1年生で少人数学級を選択した学校では未実施校に比べて不登校人数が少なく、少人数学級の効果が表れています。小学4年生までの少人数学級を、子どもたちの豊かな学びを保障するため、中学3年生まで段階的に実施すべきです。

子ども議会

～議案「公園からゴミ箱をなくす!」～ (11/28 舞鶴小)

●本年度から新たな事業として「福岡市議会社会科特別授業」が始まりました。子どもたちの政治への関心を高めるため、特別授業の教室として、議会の本会議場や常任委員会室を使用し、「朝食も学校給食に」(7/9 日佐小)、「公園からゴミ箱をなくす」(11/27、28 那珂小、舞鶴小)等、身近なテーマ(議題)について議論が行われました。

●「ポイ捨てが増えるから、ゴミ箱はあった方がいい」「ガラスがゴミ箱を荒らすから、なくした方がよい」等々、私が委員長を務めた第1委員会室でも、熱心な討論が続きました。街がいつまでもきれいであってほしい、マナーアップしてほしい等々、「ゴミ箱」を通して、みんなで福岡のことを改めて考える機会となりました。さて、採決結果は? 「公園からゴミ箱をなくすか、否か」皆さんは、どう考えられますか? 将来の「議員」の誕生を期待します!



子どもたちに笑顔のあしたを! 笑顔で暮らせるまちづくり!



福岡市議会議員【東区】

議会活動レポート Vol.21

2019年
新春号

おちいし 俊則

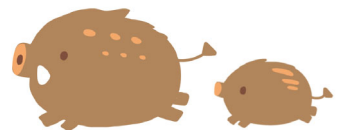
新年おめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年の世相を表す漢字は「災」でした。7月の西日本豪雨、北海道や大阪府北部での地震、大型台風の襲来、そして記録的な猛暑、「災害は忘れたころにやってくる」と言われていましたが、近年では、忘れる間もなくやってくるのが実感です。「災」を「安」にしなければな

りません。そのためにも、各地の教訓に加え、14年前の福岡西方沖地震の教訓に学び、更なる耐震化の推進や玄海原発事故を想定した防災計画の見直しを進めていく必要があります。

皆さまの安心・安全な暮らしづくりのため、本年も行動してまいります。これからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2017年度決算に対する討論

12月定例会(11日～19日)の初日、福岡市民クラブを代表して、10月の決算特別委員会の審議結果を受けた2017年度決算を認定するとともに、委員会で議論した改善すべき事業や新たな施策を2019年度予算・事業策定に反映されるよう意見・要望を含め討論を行いました。

●農林水産業の振興について



市民の暮らしやすさについては、交通利便性や都心部の機能についてスポットが当たりがちですが、本市は、農林水産業が身近にあることが強みで、周辺に農林水産業を抱える豊かな自然があることに魅力を感じる市民が多くおられます。コンパクトシティとは、地産地消という付加価値を持つ農林水産業を含めて成り立つものであることから、その農林水産業の魅力を全庁的に共有しながら来年度の施策に反映されるよう強く要望しました。

●文書管理の徹底と情報公開の促進について

「森友加計問題」は、公文書に関わる国民の信頼を著しく失墜させました。公文書の管理や廃棄等は内部規則を根拠に行政組織が自らの判断で決定するため、議会や市民の目が届きにくい状況にあります。情報公開の徹底を促進する観点から、「福岡市公文書の管理に関する規則」を見直し、「公文書管理規則」を条例にあらためるべきです。

●博多港の経済波及効果について

福岡市は、市内総生産の約3割が博多港を通じた形で波及効果として生まれ、雇用効果、税収効果についても市内全体の約3割が博多港を通じた活動によって生じているとされていますが、市民にはその好景気が実感として伝わっていません。

博多港の振興が、市民にいかに還元されているのか、より分かりやすい資料を市民にも議会にも提供されるよう要望しました。

●災害避難所でのプライバシー確保について

東日本大震災等の教訓を踏まえ、女性・子どもに対する性犯罪防止策や相談体制の強化が必要です。避難所開設運営について、人権擁護を徹底させる観点から、本市防災会議のメンバーに女性や障がいをもつ人のほか、人権問題に詳しい法曹関係者を加える等、多様な意見、専門的な知見が反映されるようにすべきです。

●人権問題について

2016年12月「部落差別解消推進法」が施行されました。本市は2017年12月に「人権問題に関する市民意識調査」を実施し、その分析結果では未だに結婚差別や社会における偏見意識等があることが明らかになりました。部落差別の解消をはじめ市民意識調査で明らかになった課題の解消に向け具体的な施策を推進すべきです。

●障がい者雇用法定率の引き上げについて

国の中央省庁で発覚した障がい者雇用率の水増し問題は、障がいを持つ人たちの働く権利を保障し、生きがいを持って働ける社会を目指す理念を崩壊させかねない事案でした。本市の経営支配下にある外郭団体や出資団体において、法定雇用率を上回る障がい者の雇用に一層取り組むとともに、啓発活動を強め民間企業等への雇用の拡大を図るよう要望しました。

東奔西走

おちいし俊則
活動報告

2018年
10月～12月



自主夜間中学「よみかき教室」

(12月7日 千代中学校)
「不登校から見えてくる教育の未来を」の講演で来福された前文科省事務次官・前川喜平さんと一緒に「よみかき教室」の生徒さんと意見交換。



市民体育祭 (10月21日 馬出小学校)

食欲、読書、そしてスポーツの秋。各校区市民体育祭で「お父さん、無理はしても無茶はしないように」と激励の挨拶。



福岡マラソンボランティア

(11月11日
よかとびあ通り)

マラソン議連のメンバーとして、早朝から給水の準備。ランナー14000人の完走を祈念!



匠の技を活かし、技術の伝承を

(11月27日 天神スカイホール)
技能功労優秀マスター表彰式に出席し、第三委員会を代表して祝辞を述べました。



お正月を迎える準備

(12月9日 奈多・志式神社)
奈多植林会の市指定有形民俗文化財「志式座」(農村舞台)の清掃活動に参加、大晦日には竹灯籠が設置されます。

おちいし俊則 市政報告・励ます集い

■とき：2019年2月9日(土)
受付 12:30/開会 13:00～14:30
■ところ：福岡リーセントホテル2F「舞鶴」
※地下鉄「箱崎宮前」3番出口より徒歩4分
※西鉄バス停「東区役所」下車すぐ

おちいし俊則事務所

〒811-0204
福岡市東区奈多1-10-12
TEL 092-606-4541
FAX 092-606-6878
http://www.ochiishi.jp/
e-mail/info@ochiishi.jp

